

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 外国語（英語） 科目 英語コミュニケーションⅠ

教科： 外国語（英語） 科目： 英語コミュニケーションⅠ 単位数： 4 単位

対象学年組： 第 1 学年 A 組～ H 組

使用教科書： （ Crown English Communication Ⅰ ）

教科 外国語（英語） の目標：

【知識及び技能】 「読む」「書く」「聞く」「話す」の4技能5領域をバランスよく習得し、学力を定着させる。

【思考力、判断力、表現力等】 自分の考えを吟味し、英語でまとめ、発表する力をつける。

【学びに向かう力、人間性等】 英語の基礎的な力を更に増強させ、より発展的な内容を英語で理解する力をつける。

科目 英語コミュニケーションⅠ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
「読む」「書く」「聞く」「話す（やり取り）」「話す（発表）」の4技能5領域をバランスよく習得し、満遍なく伸ばすことを心掛ける。	英語の文構造を分析し、文法や語法を更に増強させて、より発展的な内容を英語で理解し、発表する力をつけていく。	必要に応じて日本語とすることで英語文化の背景を積極的に探究し、与えられた課題にとどまらず、様々な活動に前向きに取り組むことを促していく。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	話 （ や ）	話 （ 発 ）	書					
1 学 期	A 単元 Lesson 1 【知識及び技能】 準動詞の活用 【思考力、判断力、表現力等】 英語話者の和製英語に関する体験を学ぶ 【学びに向かう力、人間性等】 言語と日本文化に触れる	・指導事項 英語話者の和製英語に関する体験を学ぶ ・教材 教科書、サブノート等 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	○	①英語話者の和製英語に関する体験を読む。 ②和製英語をめぐる誤解についての会話を聞き取る。 ③和製英語の例とその適切な英訳について、話し合う。 ④和製英語の長所または短所について書く。	○	○	○	10
	A 単元 Lesson 2 【知識及び技能】 現在完了、助動詞の活用 【思考力、判断力、表現力等】 片付け専門家の考え方を学ぶ 【学びに向かう力、人間性等】 著名人の生き方に触れる	・指導事項 片付けの専門家の考え方を学ぶ ・教材 教科書、サブノート等 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	○	①片付けの専門家”こんまり”さんの考え方について読む。 ②互いの部屋の状態についての会話を聞き取る。 ③自分が”ときめく”持ち物を紹介する。 ④自分が”ときめく”持ち物について書く。	○	○	○	10
	定期考査								○	○		1
	A 単元 Lesson 3 【知識及び技能】 関係詞、分詞の活用 【思考力、判断力、表現力等】 壁画アーティストの活動を学ぶ 【学びに向かう力、人間性等】 芸術と国際交流の大切さに触れる	・指導事項 壁画アーティストの生き方を学ぶ ・教材 教科書、サブノート等 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	○	①壁画アーティストであるミヤザキケンスケさんの生き方とその活動について読む。 ②芸術への感じ方についての会話を聞き取る。 ③自分が好む芸術の楽しみ方について、話し合う。 ④自分が好む芸術の楽しみ方について書く。	○	○	○	10
	A 単元 Lesson 4 【知識及び技能】 完了形、関係詞の活用 【思考力、判断力、表現力等】 縄文時代の文化について学ぶ 【学びに向かう力、人間性等】 歴史と日本文化に触れる	・指導事項 縄文時代についてのプレゼンテーションを学ぶ ・教材 教科書、サブノート等 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	○	①縄文時代についてのプレゼンテーションの文章を読む。 ②土偶と縄文時代の人々の生活についての会話を聞き取る。 ③土偶が表現しているものについて、想像して発表する。 ④土偶が表現しているものについて、想像して書く。	○	○	○	10
	定期考査								○	○		1
2 学 期	A 単元 Lesson 5, 6 【知識及び技能】 分詞構文の活用 【思考力、判断力、表現力等】 環境問題と科学技術の共生を探究する 【学びに向かう力、人間性等】 環境問題と科学技術を考える	・指導事項 環境及び科学技術に関する記事を読む ・教材 教科書、サブノート等 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	○	①動物学者ジェーン・グドール博士へのインタビュー記事を読む。 ②絶滅が危惧される動物の保護活動についての会話を聞き取る。 ③スマートフォンをめぐる現状と懸念に関する文章を読む。 ④子供の自由時間の過ごし方についての会話を聞き取る。	○	○	○	20
	A 単元 Lesson 7, 8 【知識及び技能】 仮定法の活用 【思考力、判断力、表現力等】 異文化に触れ、平和の大切さを学ぶ 【学びに向かう力、人間性等】 自然と歴史に触れる	・指導事項 自然と歴史に関する事実を学ぶ ・教材 教科書、サブノート等 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	○	①写真家の星野道夫さんによる、アラスカとその自然についての文章を読む。 ②地球温暖化の影響についての会話を聞き取る。 ③20世紀を振り返る写真展の解説を読む。 ④平和への希望を示す写真についての会話を聞き取る。	○	○	○	20
3 学 期	A 単元 Lesson 9 【知識及び技能】 関係詞の非制限用法の活用 【思考力、判断力、表現力等】 文化財に関する史実を学ぶ 【学びに向かう力、人間性等】 文化遺産を考える	・指導事項 大英博物館の文化財に関する事例を学ぶ ・教材 教科書、サブノート等 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	○	①大英博物館への文化財返還要求についての記事を読む。 ②文化財の奪還についての会話を聞き取る。 ③大英博物館が所蔵する文化財の返還の是非について、話し合う。 ④大英博物館が所蔵する文化財の返還の是非について、自分の意見を書く。	○	○	○	10
	A 単元 Lesson 10 【知識及び技能】 仮定法の応用活用 【思考力、判断力、表現力等】 日米の漫画文化の違いと作者の生い立ちに迫る 【学びに向かう力、人間性等】 著名人の生き方を学ぶ	・指導事項 漫画家シュルツさんの生涯を学ぶ ・教材 教科書、サブノート等 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	○	①漫画『ビーナッツ』の作者、チャールズ・シュルツさんについての文章を読む。 ②漫画『ちびまる子ちゃん』の主人公についての会話を聞き取る。 ③好きな漫画の印象的な点や魅力について、発表する。 ④好きな漫画から学んだことについて書く。	○	○	○	10
											合計	102

高等学校 令和7年度（2学年用） 教科 外国語(英語) 科目 論理・表現Ⅱ

教科： 外国語(英語) 科目： 論理・表現Ⅱ 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 A 組～ H 組

使用教科書： (Vision Quest English Logic and Expression Ⅱ Advanced)

教科 外国語(英語) の目標：

【知識及び技能】「読む」「書く」「聞く」「話す」の4技能5領域をバランスよく習得し、学力を定着させる。

【思考力、判断力、表現力等】自分の考えを論理的にまとめ、英語で表現する力を培う。

【学びに向かう力、人間性等】英語の構造の基礎的な力を定着させ、より応用的な内容を英語で表現する力を育成する。

科目 論理・表現Ⅱ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
「読む」「書く」「聞く」「話す（やり取り）」「話す（発表）」の4技能5領域をバランス良く習得し、満遍なく伸ばすことを目標とする。	自分の考えを論理的にまとめられるように、日頃より意識をして物事に取り組み、基本的な英文を用いて表現し、理解を深めていく。	必要に応じて日本語とすることで英語の構造の基礎的な力を定着させ、かつ文化背景を積極的に探究し、与えられた課題にとどまらず、様々な活動に取り組むことに努める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	話 （ や ）	話 （ 発 ）	書					
1 学 期	単元 Lesson 1 【知識及び技能】主語、 【思考力、判断力、表現力等】 正しい表現ができる、書ける。 【学びに向かう力、人間性等】 相互に意見交換をし、よりの確な表現を 探す。	指導事項 ・文の種類 ・文型 ・主語法 教材 ・教科書 ・ワークブック ・ICTの活用を随時実施						様々な種類の動詞を用い、適切な文型を 使って基礎的な文を読み、話し、書 くことができる。				4
	単元 Lesson 2 【知識及び技能】動詞【思考力、判 断力、表現力等】 正しい表現ができる、書ける。 【学びに向かう力、人間性等】 相互に意見交換をし、よりの確な表現を 探す。	指導事項 ・動詞 教材 ・教科書 ・ワークブック ・ICTの活用を随時実施						時制の習得、助動詞の持つ意味と性質を理 解している。 名詞の種類を理解している。				4
	定期考査										1	
	単元 Lesson 3. 4. 5 【知識及び技能】時制・完了形、助 動詞、形容詞【思考力、判断力、表 現力等】 正しい表現ができる、書ける。 【学びに向かう力、人間性等】 相互に意見交換をし、よりの確な表現を 探す。	指導事項 ・時制 ・完了形 ・助動詞 ・形容詞 教材 ・教科書 ・ワークブック ・ICTの活用を随時実施									12	
定期考査										1		
2 学 期	単元 Lesson 6, 7, 8 【知識及び技能】関係代名詞、副 詞、語法 【思考力、判断力、表現力等】 感情表現を受動態や不定詞を用いて 表現出来る 【学びに向かう力、人間性等】 原因・理由を用いて日常生活を話し 合う	指導事項 ・関係代名詞 ・副詞 ・語法 教材 ・教科書 ・ワークブック ・ICTの活用を随時実施						① 受動態を用いて、喜ぶ、驚くなどの感情 を表す基本的な英文を書くことが出来る。 ② 不定詞を用いて、感謝や謝罪などを表 す基礎的な文を読み、話し、書くこと ができる。				8
	定期考査										1	
3 学 期	単元 Lesson 9, 10, 11, 12 【知識及び技能】仮定法、数量、比 較級、最上級、否定 【思考力、判断力、表現力等】 感情表現を語法を用いて表現出来る 【学びに向かう力、人間性等】 異文化理解に努める	指導事項 ・仮定法 ・数量 ・比較級 ・最上級 ・否定 教材 ・教科書 ・ワークブック ・ICTの活用を随時実施						① 動名詞を用いて、勧誘や申し出を表す 基本的な英文を書くことが出来る。 ② 分詞を用いて、賛否を表す基礎的な文を 読み、話し、書くことが出来る。 ③ 関係詞を用いて文化を説明することが出 来る。				12
	定期考査										1	
3 学 期	Write to the Point Lesson 1 からスタート 主語の決定 1 主語の決定 2	・指導事項 様々な英語表現に慣れる ・教材 教科書、Write to the Point ・ICTの活用を随時実施						① 英作文で、主語を決定できる。 ② 「少ない」「増えている」を英語で表現 できる。				4
	Write to the Point 入試に向けた英作文指導 目的の表現 理由の表現	・指導事項 自由英作文を書く ・教材 教科書、Write to the Point ・ICTの活用を随時実施						① 「～するために」を、様々な英語で表現 できる。 ② 「～の理由で」を、文意に沿い、英語で 表現できる。				4
	定期考査										1	
	合計										53	

高等学校 令和7年度(3学年用) 教科

英語

科目

英語コミュニケーションⅢ

教科: 英語

科目: 英語コミュニケーションⅢ

単位数: 4 単位

対象学年組: 第 3 学年 A 組~ H 組

使用教科書: (CROWN English Communication Ⅲ)

教科 英語

の目標:

【知識及び技能】「読む」「書く」「聞く」「話す」の4技能5領域をバランス良く習得し、学力を定着させる。

【思考力、判断力、表現力等】自分の考えを吟味し、英語でまとめ、発表する力をつける。

【学びに向かう力、人間性等】基礎的の確実な定着の下に、大学入学試験に対応出来るより発展的な内容を英語で理解する力をつける。

科目 英語コミュニケーションⅢ の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
「読む」「書く」「聞く」「話す(やり取り)」「話す(発表)」の4技能5領域をバランスよく習得し、満遍なく伸ばすことを心掛ける。	英語の文構造を分析し、文法や語法を更に増強させて、大学入学試験に対応出来るより発展的な内容を英語で理解し、発表する力を向上させる。	英語を始め、多様な文化の背景を積極的に探究し、与えられた課題にとどまらず、様々な活動に積極的に取り組む機会を促していく。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	能	配 当 時 数	
		聞	読	話 (や)	話 (発)	書						
1 学 期	A 単元 Lesson 1 【知識及び技能】 文語法の整理と活用 【思考力、判断力、表現力等】 言語と思考について学ぶ 【学びに向かう力、人間性等】 認知科学について考える	・指導事項 言語と思考の多様性について学ぶ ・教材 教科書、関連資料等 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	○	①言語の特徴を整理する。 ②言語の多様性についての説明を聞き取る。 ③言語が思考を形成するかについて、話し合う。	○	○	○	10
	A 単元 Lesson 2 【知識及び技能】 文語法の整理と活用 【思考力、判断力、表現力等】 ロボットとテクノロジーについて学ぶ 【学びに向かう力、人間性等】 ロボットの人間の共存について考え 定期考査	・指導事項 ロボットテクノロジーについて学ぶ ・教材 教科書、関連資料等 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	○	①人間とロボットの関係の未来について、自分の気持ちを述べる ②時代や登場人物などの場面設定と展開や結末など話の筋をまとめている。	○	○	○	10
	A 単元 Lesson 3 【知識及び技能】 文語法の整理と活用 【思考力、判断力、表現力等】 フェイクニュースの危険性と対処法について学ぶ 【学びに向かう力、人間性等】 誤情報かどうかについての理解を深	・指導事項 フェイクニュースの危険性を学ぶ ・教材 教科書、関連資料等 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	○	①フェイクニュースへの対応について、賛否を述べる表現や自分の意見が言える。 ②友だちに向けた同意や反論、忠告や問いかけなどのメッセージがまとめられる。	○	○	○	15
	A 単元 Lesson 4 【知識及び技能】 文語法の整理と活用 【思考力、判断力、表現力等】 最先端義足の開発者の活動について学ぶ 【学びに向かう力、人間性等】 最先端義足の未来について考える 定期考査	・指導事項 最先端義足について学ぶ ・教材 教科書、関連資料等 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	○	①技術が障がいを取り除くだけでなく、人間の能力を拡大させることについて、理由や例を述べる表現を使うことができる。 ②技術が障がいを取り除くだけでなく、人間の能力を拡大させることについて、本課で読んだことをもとに主張、理由、結論をまとめることができる。	○	○	○	15
	A 単元 Lesson 5 【知識及び技能】 文語法の整理と活用 【思考力、判断力、表現力等】 先延ばし癖の克服方法について学ぶ 【学びに向かう力、人間性等】 自分が先延ばし癖かどうかを考える	・指導事項 先延ばし癖の克服について学ぶ ・教材 教科書、関連資料等 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	○	①「先延ばし癖」への対処法について、理由や例を述べる表現や自分の気持ちを述べる表現などを用いて表現できる。 ②本課で読んだことをもとに意見を言える。	○	○	○	15
2 学 期	A 単元 Lesson 6 【知識及び技能】 文語法の整理と活用 【思考力、判断力、表現力等】 家電・電子ゴミ問題について学ぶ 【学びに向かう力、人間性等】 企業戦略と消費者運動を考える	・指導事項 家電・電子ゴミの問題について考える ・教材 教科書、関連資料等 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	○	①e-wasteの問題に対処するために個人ができることについて、理由や例を述べることができる。 ②本課で読んだことをもとに、主張、理由、結論をまとめることができる。	○	○	○	15

3 学 期	A 単元 Lesson 7 【知識及び技能】 文語法の整理と活用 【思考力、判断力、表現力等】 武装解除に携わる瀬谷氏の活動について学ぶ 【学びに向かう力、人間性等】 瀬谷氏の生き方とメッセージについて	・指導事項 武装解除に携わる瀬谷氏の活動について学ぶ ・教材 教科書、関連資料等 ・一人1 台端末の活用 等	○	○	○	○	○	①世界平和や戦争で被害を受けている人々のために自分ができることについて、理由や例を述べる表現や自分の気持ちを述べる ②意見を交換したりする技能を身に付けている。	○	○	○	○	10
	A 単元 Lesson 8 【知識及び技能】 文語法の整理と活用 【思考力、判断力、表現力等】 スーパークローン文化財について学ぶ 【学びに向かう力、人間性等】 美術品の補修と複製について考える	・指導事項 スーパークローン文化財について学ぶ ・教材 教科書、関連資料等 ・一人1 台端末の活用 等	○	○	○	○	○	①自分が美術館の学芸員だったらどのような複製展示を企画したいかについて、例を述べる ②自分の気持ちを述べる表現などを用いて、自分の意見を書いて伝える技能を身に付けている。	○	○	○	○	10
												合計	102

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 英語 科目 論理・表現Ⅲ

教科：英語

科目：論理・表現Ⅲ

単位数：2 単位

対象学年組：第3学年 A組～H組

使用教科書：（Vision Quest English Logic and Expression Ⅲ）

教科 英語

の目標：

【知識及び技能】「読む」「書く」「聞く」「話す」の4技能5領域を修得し、対話の展開の仕方や論理構成について理解している。

【思考力、判断力、表現力等】自分の考えを論理的にまとめ、コミュニケーションを行う場面に応じて、英語で表現することができる。

【学びに向かう力、人間性等】英語の構造の基礎的な力を身につけ、より応用的な内容を英語で表現することができる。

科目 論理・表現Ⅲ

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
「読む」「書く」「聞く」「話す（やり取り）」「話す（発表）」の4技能5領域をバランス良く習得し、対話の展開の仕方や論理構成について理解することができる。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、支援をほとんど活用しなくても日常的话题や社会的な話題について、多様な語句や文を用いて、論理の展開や構成を工夫しながら伝え合うことができる。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、話し手に配慮しながら、主体的に英語を用いて話して伝えようとする事ができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 時 数
1 学 期	単元 Lesson 1, 2 【知識及び技能】エッセイを書く上で必要な構成やパラグラフの展開について理解している。【思考力、判断力、表現力等】正しい表現ができる、書ける。 【学びに向かう力、人間性等】相互に意見交換をし、よりの確かな表現を探す。	・指導事項 複数の資料を参考にしながら、論理の展開や構成を工夫して書いて伝える技能 ・教材 教科書および副教材 Write to the Point 1, 2章 ・ICTの活用 Teamsを活用	エッセイを書く上で必要な構成やパラグラフの展開について理解している。	○	○	○	4
	単元 Lesson3 【知識及び技能】エッセイを書く上で必要な構成やパラグラフの展開について理解している。【思考力、判断力、表現力等】正しい表現ができる、書ける。 【学びに向かう力、人間性等】相互に意見交換をし、よりの確かな表現を探す。	・指導事項 複数の資料を参考にしながら、論理の展開や構成を工夫して書いて伝える技能 ・教材 教科書および副教材 Write to the Point 3, 4章 ・ICTの活用 Teamsを活用	グループ・ディスカッションの流れについて理解している。	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1
	単元 Lesson4, 5 【知識及び技能】エッセイを書く上で必要な構成やパラグラフの展開について理解している。【思考力、判断力、表現力等】正しい表現ができる、書ける。 【学びに向かう力、人間性等】相互に意見交換をし、よりの確かな表現を探す。	・指導事項 複数の資料を参考にしながら、論理の展開や構成を工夫して書いて伝える技能 ・教材 教科書および副教材 Write to the Point 5, 6章 ・ICTの活用 Teamsを活用	論理的なスピーチの展開方法について理解している。	○	○	○	4
	単元 Lesson 6, 7 【知識及び技能】エッセイを書く上で必要な構成やパラグラフの展開について理解している。【思考力、判断力、表現力等】正しい表現ができる、書ける。 【学びに向かう力、人間性等】相互に意見交換をし、よりの確かな表現を探す。	・指導事項 複数の資料を参考にしながら、論理の展開や構成を工夫して書いて伝える技能 ・教材 教科書および副教材 Write to the Point 7, 8, 9章 ・ICTの活用 Teamsを活用	記事を書く上で必要な構成やパラグラフの展開について理解している。	○	○	○	8
定期考査			○	○		1	
2 学 期	単元 Lesson 8, 9 【知識及び技能】エッセイを書く上で必要な構成やパラグラフの展開について理解している。【思考力、判断力、表現力等】正しい表現ができる、書ける。 【学びに向かう力、人間性等】相互に意見交換をし、よりの確かな表現を探す。	・指導事項 複数の資料に基づく理由や具体例を交えて、論理の展開や構成を工夫して書いて伝える技能 ・教材 教科書および副教材 Write to the Point 10, 11, 12, 13, 14章 ・ICTの活用 Teamsを活用	レポートを書く上で必要な構成やパラグラフの展開について理解している。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	単元 Lesson 10 【知識及び技能】エッセイを書く上で必要な構成やパラグラフの展開について理解している。【思考力、判断力、表現力等】正しい表現ができる、書ける。 【学びに向かう力、人間性等】相互に意見交換をし、よりの確かな表現を探す。	・指導事項 複数の資料に基づく理由や具体例を交えて、論理の展開や構成を工夫して書いて伝える技能 ・教材 教科書および副教材 Write to the Point 15, 16, 17, 18章 ・ICTの活用 Teamsを活用	効果的なプレゼンテーションの展開方法について理解している。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
復習		・指導事項	これまでに学んだ表現を用い、話の展開や構				

	<p>【知識及び技能】エッセイを書く上で必要な構成やパラグラフの展開について理解している。【思考力、判断力、表現力等】正しい表現ができる、書ける。【学びに向かう力、人間性等】論理の展開や構成を工夫して正しく伝えようとする。</p>	<p>複数の資料に基づく理由や具体例を交えて、論理の展開や構成を工夫して書いて伝える技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材 大学入試過去問題 ・ICTの活用 Teamsを活用 	<p>成を工夫して、パラグラフを書くことができる。大学入試の過去問を参照しながら英作文を書くことができる。</p>	○	○	○	4
3 学 期	<p>復習</p> <p>【知識及び技能】エッセイを書く上で必要な構成やパラグラフの展開について理解している。【思考力、判断力、表現力等】正しい表現ができる、書ける。【学びに向かう力、人間性等】論理の展開や構成を工夫して正しく伝えようとする。</p>	<p>・指導事項</p> <p>複数の資料に基づく理由や具体例を交えて、論理の展開や構成を工夫して書いて伝える技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材 大学入試過去問題 ・ICTの活用 Teamsを活用 	<p>これまでに学んだ表現を用い、話の展開や構成を工夫して、パラグラフを書くことができる。大学入試の過去問を参照しながら英作文を書くことができる。</p>	○	○	○	4
							合計
	定期考査			○	○		48